

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	その他/演習 B4 (Seminars B4)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	『十二夜』の批評的・演劇的受容		
担当者名 (Instructor)	岩田 美喜(IWATA MIKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EAL3813	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)	申込カード記入用科目コード:AM103		

授業の目標 (Course Objectives)

この授業では、春学期に精読した『十二夜』に関する以下のような多様なアクティビティを行い、作品を多角的に考察し、作品についての批評的理解をさらに深める。

- (1) 作品の批評を読解する。
- (2) 現代における上演や映画版などの映像作品を鑑賞し、それについて議論する。
- (3) グループごとに、各グループの解釈に基づいたドラマ・リーディングの最終プレゼンテーションを行う。

In this course, students will carry out such various activities as listed below on *Twelfth Night*, the play that students read in the spring term, through which they will examine the play further from multiple angles and deepen their critical understanding of it:

- (1) To read critical essays on the play.
- (2) To watch performance videos and film versions of the play and have discussions about them.
- (3) To form groups so that each group may make a drama-reading presentation based on the group's interpretation of the play.

授業の内容 (Course Contents)

『十二夜』に関する論文を読み、またこの作品に着想を得たアダプテーション作品や上演を多数鑑賞したうえで、グループ・ディスカッションを中心に、『十二夜』が持つ現代性について考察していく。最終的には、各グループが『十二夜』の一場面を実際に上演することを含む、自分たちの解釈を反映させたグループ発表を行う。

Students will read critical essays on *Twelfth Night*, watch modern performances and film versions of the play, and have group discussions on them in order to investigate the modernity of the play. Finally, each group will be required to make a presentation that includes their own drama-reading performance of scenes from *Twelfth Night*, which should reflect each group's interpretation of the play.

授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 『十二夜』の批評読解
3. ジョン・ゴリー演出『十二夜』(1980)鑑賞とディスカッション
4. トレヴァー・ナン監督『十二夜』(1996)鑑賞とディスカッション
5. 発表会準備(1)
6. 蜷川幸雄演出『十二夜』(1998)鑑賞とディスカッション(1)
7. 蜷川幸雄演出『十二夜』(1998)鑑賞とディスカッション(2)
8. 発表会準備(2)
9. ティム・キャロル演出『十二夜』(2012)鑑賞とディスカッション(1)
10. ティム・キャロル演出『十二夜』(2012)鑑賞とディスカッション(2)
11. 上演発表会(1)
12. 上演発表会(2)
13. 発表会のフィードバック・セッション
14. 最終ディスカッションと全体のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

授業ではグループ・ワークやグループディスカッションを重視するため、予習として全員が、取り扱う作品に関する資料や関連する作品の情報を調べるなど、自分の意見を述べる準備をして、授業に臨むこと。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 授業時における貢献度(60%)

テキスト (Textbooks)

1. William Shakespeare 著 / 安西徹雄編注. 1987. *Twelfth Night*. 大修館書店 (ISBN:978-4469142624)

参考文献 (Readings)

適宜、授業中に指示する。

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

注意事項 (Notice)